

授 業 概 要

(幼稚園教諭専攻科)

授業のタイトル (科目名) 児童文化財	授業の種類 (講義・ 演習 ・ 実習)	授業担当者 青田 由美子	当該科目に関する実務経験 保育士
授業の回数 15 回	時間数 (単位数) 30 時間 (1 単位)	幼稚園教諭専攻科 後期	必修・選択 必修
[授業の目的・ねらい及び概要] ・乳幼児にとって、児童文化財が果たす役割を理解し、児童文化財を積極的に活用できるための知識と技術を身に付ける。また、製作を通して、作者の意図をどのように子どもに伝えるのか、伝わるのかについても、実践を通し調査地・研究する。子どもの感性を刺激する保育教材を実践的・応用的に活用できる技術を修得する。			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] コマ数 1. 児童文化とは何か。(児童文化の定義・子どもにとっての児童文化の魅力) 2. 児童期の発達と児童文化 (子どもの成長、発達と文化の伝承、創造等) 3. 幼児教育と児童文化① (遊びの意義と児童文化とのかかわりと遊びで育つもの) 4. 幼児教育と児童文化② (保育の基本、領域と児童文化のかかわりと問題) 5. 児童文化財の研究① (玩具・遊具の種類とあり方) 6. 児童文化財の研究② (絵本、童話の種類と内容) 7. 児童文化財の研究③ .. 8. 児童文化財の研究④ (紙芝居・人形劇・ペープサート等) 9. 児童文化財の研究⑤ .. 10. 児童文化財の研究⑥ (テレビや視聴覚教材等の理解) 11. 手づくり絵本の製作① 12. 手づくり絵本の製作② 13. 手づくり絵本の製作③ (絵本読み聞かせ) 14. 児童文化施設と運動① 15. 児童文化施設と運動②			
[使用テキスト] ・「子どもと関わる人のための心理学」～保育の心理学、こども家庭の心理学への扉～ (萌文書林) [参考文献] ・「子ども理解の理論及び援助」～ドキュメンテーション (記録) を活用した保育～ (萌文書林)			
[成績評価の方法と基準] 教科出席率が 80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し学内共通の基準による絶対評価を行う。 ・ 考査点(75%) ・ 到達目標の修得状況を測るために、筆記試験により期末考査を実施する。 ・ 平常点(25%) ・ 授業に積極的に参加し、周囲と協調しながら自らの向上を図っている。			